

原 忠之

セントラルフロリダ大学

ローゼンホスピタリティ経営学部 テニユア付准教授



<略歴>

上智大学法学部法律学科卒業。日本興業銀行、外務省を経て、米国コーネル大学ホテル経営学部博士号取得。他にホテル経営、経営、地域科学の3修士号を米英の大学で取得。米国観光ホスピタリティ経営分野で正規教員職、テニユア(研究者終身身分保障)を持つ唯一の日本人。

ローザンヌホテルスクール大学院講師、早稲田大学国際教養学部、商学部大学院、客員准教授、山口大学国際総合科学部立上げ支援・客員教授、京都大学経営大学院観光MBA立上げ支援・特任教授、一橋大学経営大学院ホスピタリティMBA立上げ支援・特任教授、広島大学総合科学部客員教授を歴任。UNWTO観光サテライト勘定公式コンサルタント、国連UNESCO統計局文化サテライト勘定研究員、国連ICAO民間航空機構、航空サテライト勘定コンサルタント。その他観光庁、内閣府、文化庁の各種委員会委員複数歴任・兼任中。

専門分野・研究テーマは観光産業・文化産業の経済効果測定と世界基準策定。観光計画と観光税制度。ホスピタリティ産業人材・経営者育成。

代表的な著書は、「米国観光立地事例より展望する日本の観光立国・地域づくりへの道標と地域活性化への試案」観光科学研究(8), 33-42, 2015-01-31(本保芳明教授退職記念号) 首都大学東京 大学院 他。